



カルデアNTR



スズネ屋 によろこび!!

はあ♡♡♡

はあ♡♡♡

はあ♡♡♡

くちゅ♡♡♡

くちゅ♡♡♡

くちゅ♡♡♡

(な、なにこれ？なんで……？♡♡♡  
 私、こんな目にあってるの……？はああ♡  
 こ、コレがマシユさんが言ってた令呪？  
 令呪ってこんなことにも使えちゃうの？  
 はああ♡♡♡やだやだやだあ……！  
 こんな……ひどいよ……！はああ♡♡♡  
 い、痛い……痛いよ……はああ♡♡♡  
 やだ♡♡♡こわい……、ひい♡♡♡うぐツ♡  
 な、なんでだろ……？怖いはずなのに……  
 体が……ゆうこときいてくれない……♡  
 なんだ私……こんなことされてんの……♡  
 体が喜んで……♡♡♡)



ああ……♡♡

ああ……♡♡

ああん♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡♡

(あああ……♡♡♡ ああん♡♡♡  
どうしよう……♡♡♡ 気持ちいい……♡♡♡  
っっておもっちゃった……♡♡♡  
こんなひどいことされてるのに……♡♡♡  
もつと感じた……♡♡♡ 思っちゃった♡♡♡  
あああ……♡♡♡ あああん♡♡♡  
らめえ……♡♡♡ 頭が変になってる……♡♡♡  
この……♡♡♡ 男の人の……♡♡♡ ち○ぽ♡♡♡  
あああ♡♡♡ きもちいい……♡♡♡  
らめだけ♡♡♡ おお♡♡♡ きもちいい♡♡♡  
おち○ぽ……♡♡♡ きもちいいよ……♡♡♡)







あーい

だめだめだめ

んんん

んんん

んんん

んんん

ああ……♡

ああ……♡

あぁ♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

(あああああ……♡  
 はああ♡♡♡ あああ♡♡♡ はああ♡♡♡  
 膣内が……♡♡♡ あああ♡♡♡ あああ♡♡♡  
 奥にザーメンがも登ってくるのがわかる♡  
 このおち○ぼ……♡♡♡ すっごいのおお♡  
 もう妊娠しちゃっていい♡♡♡  
 この人の……♡♡♡ ご主人様のザーメン……♡  
 もっと……♡♡♡ 欲し……♡♡♡ ああん♡♡♡  
 ご主人様のぶつと……♡♡♡ デカち○ぽ……♡  
 何回でも……♡♡♡ ぼじゅい……♡♡♡ ほしい♡  
 もうコレ以外……♡♡♡ 何もいらない♡♡♡)



はあ♡♡♡

はあ♡♡

はあ♡♡♡

おっ♡♡♡

「ねえ♡♡♡アナタは私のマスター♡♡♡  
 ご主人様なんですよ♡♡♡はあ♡♡♡  
 イリヤのご主人様なんですよ♡♡♡はあ♡♡♡  
 ご主人様のためならせいどれえでも♡♡♡  
 メス犬さんでもオナペットでも♡♡♡  
 なあ♡♡♡にでもなりますよ♡♡♡  
 イリヤの学生ま〇こはあ♡♡♡  
 もうご主人様専用になりました♡♡♡  
 いつでもどこでも好きな時に好きなだけ♡♡♡  
 このま〇こを使って下さい♡♡♡  
 ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



ああん♡

ああん♡

♡♡

♡♡♡♡

♡♡♡♡

♡♡♡♡

「きやあああああああああ♡  
あああん♡♡♡♡ご主人様♡♡♡♡  
しゅごい♡♡♡♡さつきより激しい♡  
あしやん♡♡♡♡えへ♡♡♡♡ああん♡  
きもひい♡♡♡♡のおお♡♡♡♡ああん♡  
あああん♡♡♡♡わ、わたし♡♡♡♡  
学生でこんなHおぼえちやつた♡♡  
もう変態さんだよ♡♡♡♡でも、あん♡  
きもちいいから仕方ないよ♡♡♡♡  
ご主人様のち○ほが良すぎるんだもん♡  
あああん♡♡♡♡ご主人様大好き♡







ああい

タキタキ

クウクウ

グイグイ

グイグイ







(ちよつと！ 何！何の冗談？  
この状況なにッ？なんでこんな奴に  
私…こんなことされてるのよおッ！  
信じられない！こんなことされたら  
マハトマにあわす顔がないじゃない！  
やだやだやだあ！！！！ なんてえ！  
目が覚めたら躰が言うこと聞かない…  
こいつ私に何したああ…！)



(ち、乳首い……♡♡♡ あああん♡♡♡  
何い……♡♡♡ こんなことされて♡♡♡  
うそ？ 私の躰、喜んでるの？♡♡♡  
ち、違うの……こん……私……なんじゃ♡♡  
私……こんな端ない女じゃ……ないのに……♡♡  
どうして……もしかして……♡♡♡ 令呪……♡  
なんで……♡♡♡ じゃあマスターは？♡♡♡  
やだ……♡♡♡ なんにも考えられない♡)





(はああ……♡♡♡♡♡ はあああ♡♡♡♡♡  
もう……これ以上は……♡♡♡♡♡ なんか……  
頭がおかしくなるのがわかる……♡♡♡♡♡  
なにかが私の頭を支配する感じ……♡♡♡♡♡  
もう限界……♡♡♡♡♡ あああ……♡♡♡♡♡  
軀全部がコイツのものにたれてく……♡♡♡♡♡  
ああああ♡♡♡♡♡ 力が抜けてく……♡♡♡♡♡  
はあああ♡♡♡♡♡ ああん♡♡♡♡♡ )



ああき  
ああや  
あああ  
つああ  
あああ  
あああ  
あああ  
んつああ  
んああ  
ああ  
ああ  
ああ  
ああ



(あああん♡♡♡ああん♡♡♡♡  
腰が動いちゃってる♡♡♡もう♡  
わたし♡♡♡こいつの…♡♡♡いえ♡  
この方のものになっちゃってるんだ♡  
ああ…♡♡あれ？私マハトマに…  
マスターに…捧げ…あれ？♡♡♡  
私のマスターは…？この…お方♡♡)





「はあぁ♡♡♡はあぁ♡♡♡  
もう…いつばい♡♡♡  
わたしの膣内…♡♡♡  
すたあー♡♡♡私のおま○こ♡♡♡  
いかがでし♡♡♡もうそれは  
貴方に捧げた♡♡♡  
マハトも♡♡♡  
今日から私♡♡♡  
も歩んで♡♡♡  
ね♡♡♡

はあ♡♡

はあ♡♡

あ♡♡  
あ♡♡  
あ♡♡

は♡♡

あ♡♡

はあ♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡





ん♡

♡♡

あん♡

あ♡♡

あ♡♡♡

ん♡♡

あん♡

ん♡♡♡

(ああ…わたくしの膣内にますたあー以外の  
ち○こが入ってるなんて…♡♡♡  
だめえ…こんなのいけませんわあ…♡♡♡  
でも逆らえないんですう…♡♡♡  
今まで感じたことがない悦びが溢れてくる♡  
ごめんなさいますたあー…わたくしの子宮が  
このち○こに恋しちゃったみたいですよ♡♡)

♡♡♡  
♡♡♡



ん♡



あん♡

あ♡

あ♡

（ああ：ん♡♡♡ ああん♡♡♡  
膣内が掻き回されて…♡♡♡ んん♡♡♡  
わたくし、もう気持ち良すぎてえ♡♡♡  
頭がおかしくなりそうです♡♡♡ ますたあー様…♡  
清姫はあ：淫乱で♡♡♡ はしたなくて♡♡♡  
だらしのない女なんです♡♡♡  
このち○こが欲しくて…愛おしくて♡♡♡  
仕方ないんです♡♡♡ あああんわたくし♡♡♡  
もうこのち○この膚になつてしまいました♡♡♡）

ん♡

あん♡

ん♡

グッ♡



あな

ああん

ああん

(きたきたきたきたああああああ  
あああああ  
奥にたくさんきましたあああああ  
いくいくいくいくいくいくいく  
いっちやううううううううう  
子種が膣内にあふれてくるうううう  
ううううううううううううう  
)

フッ

フツッ

はあ



はあ

はあ

はあ

「はああ…♡はああ♡ 清姫は今幸せです  
女の悦びを教えてください♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
ありがとうございます♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
清姫はもう貴方様専用の穴奴隷です♡♡♡♡  
もっと清姫をお好きにようにお使いください♡♡♡  
たくさん愛を注いでくださいませ♡♡♡♡♡♡♡♡  
わたくしの新しい旦那様ああ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ビュッ♡♡♡♡♡



「いやああああ！  
やめてください！大人の私ならまだしも  
今の私に手を出したら犯罪ですよ！変態！  
アナタいったい誰ですか？なんでアナタが  
令呪持ってるんですか？マスターわ？  
私のマスターはどうしちゃったんですか？  
やだやだやだ！触らないでください」  
（ますたあー助けてますたあー！こわいです  
はやくはやくきてえ…）







(あれ？なんですか？怖いはずなのに…  
 これが令呪の効果？怖いのが薄れていく…？  
 ああ…？あれ？痛いと思つてたはずなのに  
 きもちいい？うそ？きもちいいつて？  
 私のことと思つちやつてるの？  
 うそうそうそ！私そんなはしたくないです  
 でも…でも…でもお…♡♡♡♡♡♡♡♡  
 ああ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 痛みが…喜びになつてる…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡)

ああ♡

キュ♡  
 ハッ♡  
 ム♡

キュ♡  
 ハッ♡  
 ム♡





「ひゃあああああああああああ〜」  
 (あああああ〜きなりはげしく  
 動かないでええええええええええ  
 そこなんかあ：なんかへんだよおとおお  
 ひゅううううううううううううう  
 お腹の奥までギュンギュンつてえううううう  
 ううううううううううううううう  
 た、耐えられないよおお  
 (

あん  
 あん  
 あん

あん  
 あん  
 あん

あん  
 あん  
 あん



（私…もう何も考えられません…  
きもちいいってこういうことなんですか？  
ああ…体が勝手に動いちゃうんだもん  
この感じがきもちいいってことなんですか  
あああん…あああ…  
おま○こからすぐえつちな音してますう  
ああ…頭がぼーっとしてきましたあ…  
なんで…こんななひどいことさされてるの  
に…  
ああ…私悪い子になっちゃったの…？

あん♡  
あん♡  
アレックス♡

あん♡  
あん♡  
あん♡  
ん♡  
ん♡  
ん♡

ぐん♡  
ぐん♡  
ぐん♡  
ぐん♡  
ぐん♡  
ぐん♡

ぐん♡  
ぐん♡  
ぐん♡



あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん





貴方は一体どういったつもりなのですか！  
ふざけないでください……！ こんなこと……  
生殖行為への冒瀆です、今すぐやめなさい、  
さもないと……くっ！  
(なにか……わたしの身に異常がある……、  
感じたことのないこの感覚はなに？  
この人、私の身に何を仕掛けていうの？  
身に全てが熱い……雑菌……？ 未知の症例……  
とにかく……今はこの状況を早くどうにか  
しなければ……)



ズッ!!

ズッ!!

うほおおツ♡♡

(な、なんなの？ 快楽…いえ、それ以上の  
なにか凄いものが… 舐める奥の方から… なにか…  
湧き上がってくる…？ な…ッ！ 勝手に…  
声… 声が出てしまう…♡♡ 抑えきれない  
な、なんなの…？ 一体… 今なにが… 私に  
起きてしまってるの？ わからない…！  
でも… この感情に逆らえない…♡♡♡  
いや…！ どうにか… ならない…♡)





(だめだめだめッ！駄が…全く言うこと聞かないじゃないッ！♡♡♡♡  
それに脳が溶けそうなりそう♡♡♡♡  
いっぱいでおかしくなりそう♡♡♡♡  
令呪とはここまで強制力があるのですか？  
もうだめ…♡♡♡♡ このままでは私…  
この男の…性玩具になってしまおう♡♡♡♡  
ああああ…♡♡♡♡ 私の生殖器が活発に動いてる♡♡♡♡ 高揚…興奮…いえ…  
コレはもはや発情状態…♡♡♡♡)



あーん♡♡

あーん♡♡

あーん♡♡

あああーん♡♡♡♡♡  
（あああーん♡♡♡♡♡腰が…動く…  
私が動かしてるの？自分で？  
うそ…自分から快楽を求めている？  
だ、だめ！私はこんな事をするために  
召喚されたんじゃない…で、でも♡♡♡  
あああ…私は…こんな…こんなことを  
…ああん♡♡♡でも…♡♡♡でも♡♡♡  
こんなことが…気持ちいいと感じて  
しまう♡♡♡女にされてしまう♡♡♡）



あああああ x♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 (あああ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 ごめんなさい…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 救う使命を受けてるのに…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 もっと感じたいです♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 満たしたいです♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 マスター…申し訳ございません♡♡♡♡♡♡  
 私はもう…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 この人の女なんです…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
 そう…わたしも生殖行為の冒険者です♡♡





あああ……♡♡♡♡♡ ああああ♡♡♡♡♡  
ま♡こ……きもちいい……です……♡♡♡♡♡  
こんなに取り乱してごめんなさい♡♡♡♡♡  
はしたない女でごめんなさい♡♡♡♡♡  
あああ……♡♡♡ あ、あの……わ……わたし  
こんな女ですが……ご満足いただけただけで  
しょうか……？ わたし……経験がないので  
よろしければこれから色々ご教授お願い  
します♡♡♡♡♡ ますたあ♡♡♡♡♡

(あああ……先輩……！  
ごめんない……私……なぜかこの男に  
逆らえないんです……♡♡♡♡♡  
私は先輩のだけのデミサーヴァント  
なのに……あぁん♡♡♡♡♡  
だめ！こんなのだめ……あぁん♡♡  
にげなきや……こんな……あぁん♡  
あれ？力が抜けるうう……♡♡♡♡♡)

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

ほあ♡

ダメだって... わかってるのに  
きもちいい...? そんなの嫌  
でも...♡♡♡ 嫌はずなのに♡  
すごい...♡♡♡ 先輩は私にこ  
すとして...♡♡♡ 先輩は私にこ  
ことして...♡♡♡ 先輩は私にこ  
あああ...♡♡♡ 先輩は私にこ  
なんで私にこの気持ち教えて  
くれなかつたのですか...?)

ほあ♡

ほあ♡

んん♡♡♡

んん♡♡♡

んん♡♡♡

んん♡♡♡



ひぎいいい♡♡♡♡♡  
お奥にささるうう♡♡♡♡♡  
痛いのか気持ちいのかわからない♡♡♡  
これ以上はダメ♡♡♡♡♡  
おマコがギチギチつてなってる♡♡♡  
頭の中がぐちゃぐちゃになつて…♡♡♡  
私…興奮してる♡♡♡♡♡  
喜んでやってる♡♡♡♡♡  
喜んじやってる♡♡♡♡♡

ム

ム

ム  
♡♡♡

ム  
♡♡♡











(あああああ……あああああ……  
たまつてるううう♡♡♡♡♡♡  
こんなに出されたらあ♡♡♡♡♡  
絶対妊娠しちゃううう……♡♡♡♡♡  
あ……あれ？何でだろう……♡♡♡♡♡  
こんなことされちゃったのに♡♡♡♡♡  
すつごく嬉しいの……♡♡♡♡♡  
もつと……もつと注いでほしい……♡)

あ……ん♡

あま♡

きん♡  
ぽん♡

ん♡

♡



(ああ…先輩♡♡♡ごめんなさい♡  
 わたし…この人のサーヴァント  
 になりました♡♡♡いままで  
 ありがとうございます♡♡♡  
 マシユはもうこの人の女なんです  
 お○こに勝てないダメ女です  
 でも心配しないでください  
 私は今とつても幸せです♡♡♡  
 )

はああ♡♡はああ♡♡♡♡はああ♡♡♡♡  
(ああああ♡玉藻のおま○こが、愛液で  
びしょびしょになってますぅ♡♡♡♡♡  
まいますたあ以外の股方に欲情する  
なんて…♡♡私ってほ端ない狐です♡  
ああん、ごめんなさいましたあ〜♡♡  
どうしても逆らえないんです♡♡♡♡♡  
おま○こがもう限界なんですぅ♡♡♡♡♡  
おち○ほ欲しくてうずうずしてるんです♡)



みごおおお〜ん♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
(でっかいでっかいでっかあああああああああ  
ああああああい♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
あんなでっかいおち○ほで玉薬のおま○こ  
ぐりぐりされてるうううう♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
おち○こ欲しくてヒクヒクってなってる♡  
やあん♡♡ 玉薬ってばはしたない♡♡♡  
でも欲しい♡♡ますたあよりでっかあ〜い  
おち○ほでおま○こにハメハメしたい♡)

ズル♡

ヒク♡  
ヒク♡

ドキ♡♡♡♡♡

ドキ♡♡

ヒク♡♡  
ヒク♡♡







ああああああん♡♡♡♡♡  
あああん♡♡♡♡ああん♡♡♡  
ん♡♡♡♡ ああん♡♡♡♡  
(ああああん♡♡♡♡ま〇この中で  
デカち〇こが暴れてりゅううううう  
ダメなのに声でちやううううう  
ますたあ以外のおち〇ぼなのにい♡♡  
このデカちんぼ最高おお♡♡♡♡  
令呪で感じやすくなつちやてるのに♡  
デカち〇ぼヤバイですううう♡♡)



ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああああん♡♡♡♡♡はああ♡♡♡  
いやああん♡♡♡♡♡ああん♡♡♡  
(うそうそおおお♡♡♡♡♡ち○こまだ大きく  
なつてくうう♡♡♡♡♡気持ちよすぎ♡♡  
ああん♡♡♡♡♡女の子の穴がどんどん抜け  
られてくうう♡♡♡♡♡奥まで全部抜がって  
るのがわかるううう♡♡♡♡♡うああん♡♡♡  
もうだめええ♡♡♡♡♡たまんなあああ♡♡♡  
大好き♡♡♡♡♡大好き♡♡♡♡♡あああ♡♡♡  
ますたあより・・好きかも♡♡♡♡♡)





はぁ♡♡♡ はぁぁぁ♡♡♡♡♡ はぁ♡♡♡  
あぁん♡♡♡ もう最高でしたぁ♡♡♡  
おま○こばかばかになっちゃったぁ♡♡♡  
もうこんなの覚えたらもうふつうの  
おち○ぼじゃ物足りなくなっちゃう♡♡♡  
はぁはぁ♡♡♡あ。あのお願します♡  
玉蕨 なんでもしますから貴方様の…  
淫乱ペットとしてお側においてください♡  
貴方様のためならなんでも尽くしますよ♡  
ふふふふふふうう♡♡♡♡♡♡♡







「あああ…私、なぜこんな下賤な男に  
このような格好でこのようなことを…？  
なぜ逆らえないの…？ えっ？ あれって  
…台呢？ なぜこんな男が？ マスターは？  
私のマスターは何処に…？」



—呪いを持って命ず

俺の女になれ—



(な、なに...? 今のも合呪?  
そんな漠然とした命令が有効なわけが...ッ  
...えッ! 嘘...! なんて...!  
こんな男が...愛おしく見える...?  
な、なんで?...私のマスター...?  
...ご主人様? ちがうちがう! 私のマスターは...  
私の... ああああ... (♥♥♥))

わ





はあぁ♡♡♡

はあ♡♡♡

キゅん♡♡♡

キゅん♡♡♡

(はあぁ……♡♡♡はあぁ♡♡♡はあぁ♡♡♡はあぁ♡♡♡  
だ、だめ……♡♡♡なんてかしら……？  
胸がきゅんって……♡♡♡欲しくなってる♡♡  
こんな小娘みたいな反応しちゃうなんて♡♡  
これも令呪の効果あ……？ ああ♡♡♡  
だめだめ……♡♡♡ マスター以外に魅を  
捧げるなんて……♡♡♡ またあー……？  
あれ？今のまたーは…… この方……？)



あぁん♡♡♡  
は、挿入ってきたああ〜♡♡♡  
お、大きい♡♡♡こんな大きい初めて♡♡♡  
やだぁ♡♡♡私ったら喜んじやってる♡♡♡  
でもこれはすごいのお…♡♡♡  
こんなイチモツ感じないほうが無理ッ♡♡♡



ああん♡♡♡

ああん♡♡♡

じゅわん♡♡♡

きゅん♡♡♡

きゅん♡♡♡

じゅわん♡♡♡

きゅん♡♡♡

（あああああん♡♡♡♡♡あああああつん♡♡♡  
やだあく♡♡♡腰が勝手に動いちゃう♡♡♡  
もう全部どうだつていいかも♡♡♡  
もうこのち○ほが愛おしくて♡♡♡  
何も考えられない♡♡♡ああああ…♡♡♡  
わたし…もうこの方の女なのね…♡♡♡  
令呪のとおり…このち○ほのサーヴァントに  
なったのね♡♡♡なぜだかうれしい…♡♡♡）



ああああ♡♡♡♡♡ますたあー♡♡♡  
 私の愛しいマスタァー♡♡♡ ああん♡♡  
 私はもう貴方の女でございます♡♡♡  
 ああん♡ああん♡♡どうかこの頼光に♡  
 なんなりとお命じくださいませ♡♡♡  
 この頼光♡♡ 鬼も修羅にも：♡♡♡♡  
 メス犬にでもなつてみせますうう♡  
 ~~~~~♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡





「はぁ♡♡♡ はぁぁ♡♡♡ はぁぁ♡♡♡ はぁぁ♡♡♡  
あぁ…ますたぁー♡♡♡ あぁぁ♡♡♡  
この頼光の躰で悦んでいただきまして…  
ありがとうございます♡♡♡♡♡♡♡♡  
もうわたくしは貴方のメス犬でございます♡♡  
どうぞ好きな時にお好きなように使ってください  
私の…愛しい愛しい主様まぁ♡♡♡♡♡♡♡♡」